令和６年度　学 校 自 己 評 価 重 点 目 標 シ ー ト　（川口市立高等学校）

（Ａ４判横）

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	未来を創る　しなやかでたくましい人材の育成
目指す学校像	新しい時代の教育を創造し、しなやかでたくましい人材を育てる川口市のリーディング校

達成度		
	A	ほぼ達成（８割以上）
	B	概ね達成（６割以上）
	C	変化の兆し（４割以上）
	D	不十分（４割未満）

出席者	
学校関係者（教職員を除く）	名
事務局（教職員）	名

学校自己評価							学校関係者評価
領域	年度目標			年度評価（令和　年　月　日　現在）			※実施日　令和　年　月　日
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
組織運営	**【川口市立高等学校将来構想：第３期・飛躍期（１年目）】** ○川口市のリーディング校として、中高一貫校として「飛躍」するため、さらなる教育活動の充実が必要である。 ○各学科・コースの特色化を推し進め、SSH事業を通じた生徒の探究活動を充実させることが求められる。	**「進学校・SSH指定校として飛躍する」** ①各学科・コースの教育活動の発展とより一層の特色化を打ち出す。	①○理数科の特色を出すSSH事業の充実 ○スポーツ科学コースを中心とした文武両道の奨励 ○普通科特進クラスの進学指導の充実と志を高く持たせる徹底した指導 ○内進生の教育活動の充実				
		②管理職と教職員が両輪となり、各部署の目標を連鎖させ、教育活動を飛躍させる。	②政策会議や企画委員会を通じた、管理職と各主任の定期的な情報交換				
教育課程	**【新教育課程の完成と附属中１期生の入学】** ○各学科・コース、中高一貫における新教育課程の円滑な実施とSSH（３年目）の中間報告に向け、教育活動に取組む。 ○生徒の進路実現に向け、ICT活用やアクティブラーニングによる授業を学校全体で取組む。	**「国公立大学進学に対応する教育課程の展開とSSH事業を実施する」** ③国公立大学の現役合格者60名以上を目指す。 ④生徒の進路実現に向け、授業の質を高め、学力向上につながる教育活動を展開する。	③○生徒の第１志望宣言を踏まえた、学習指導と進学指導の充実 ○始業前、放課後の自習環境の整備と文武両道に向けた学習サイクルの確立				
			④観点別評価を活用した授業改善と放課後や長期休業中の補習の充実				
開かれた学校づくり	**【県下有数の高倍率の学校】** ○学校案内を見直すとともに、本校の魅力・特色を発信する学校説明会の実施、近隣中学校への継続的な広報活動が必要である。 ○ホームページの内容充実と積極的な情報発信、公開授業の実施により、地域・保護者が本校を理解する機会を創出する。	**「地域に開かれた学校づくりを行うとともに、中学校や関係者に積極的に広報する」** ⑤各学科・コースの魅力・特色を発信する学校案内、ホームページの充実を図る。 ⑥近隣中学校を中心に、塾関係者などとの情報交換を通じ、連携を図る。	⑤○各学科・コースの魅力・特色がわかりやすい学校案内の作成 ○学校説明会・見学会の内容充実と公開授業の実施 ○ホームページの内容充実				
			⑥○市内中学校と近隣の市外中学校に対する積極的な広報活動 ○塾等主催の学校説明会への積極的な参加				
教職員の資質向上	**【生徒の進路実現に向けた教材研究】** ○川口市独自の人材配置を活かした初任者研修・教職員研修の充実と教員相互の授業見学による授業力の向上が求められる。 ○大学との連携協定や研究機関等の協力を通じ、教職員の資質向上に取組む必要がある。	**「学校全体で授業第一主義を徹底する」** ⑦授業時数の確保に向け、学校行事を精査する。	⑦○45分授業を踏まえた、学校行事の見直し ○授業研究週間（年２回）の互見授業による指導方法の研究 ○授業力向上や進学指導に関する各種研修会への積極的な参加				
		⑧探究的な学習を意識した授業を実践するため、指導方法を研究し、授業力を向上する。	⑧探究活動の充実と発表会の実施				
		⑨関係機関の協力を仰ぎ、教職員の資質向上に向けた各種研修会を実施する。	⑨教職員の資質向上、授業力向上につながる研修会の実施				
施設・設備等の管理	**【勉強・部活動に打ち込める施設・設備】** ○生徒の安全・安心な学校生活を保障し、日頃から防犯対策や自転車事故防止に向けて取組む。 ○附属中や定時制との施設の共用を工夫し、教育活動の充実を図ることが必要である。 ○授業内容の充実のため、ICTの活用を推進し、施設・設備を効率的に活用した教育活動を展開する。	**「施設を有効活用するためとともに、学校生活及び登下校時の安全に配慮する」** ⑩登下校時の交通事故防止に向け、立哨指導や注意喚起に取組む。	⑩○自転車利用者の交通ルール順守と交通マナーを向上させる生徒指導 ○防災への意識高揚と不審者・防犯対策の充実				
		⑪附属中と定時制と連絡を密にし、施設の有効活用を行う。	⑪附属中・定時制との連絡調整を定期的に実施				
		⑫ICT環境を整備し、効率良く、かつ効果的に教育活動を展開する。	⑫授業や会議をはじめ、ICTを活用した教育活動の展開と環境整備				